

(6) 市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

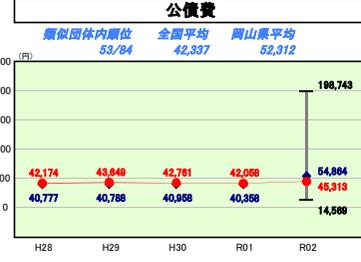
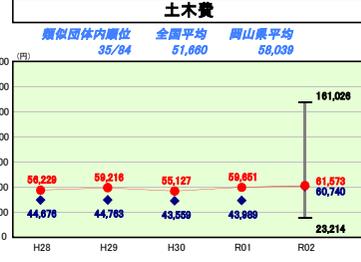
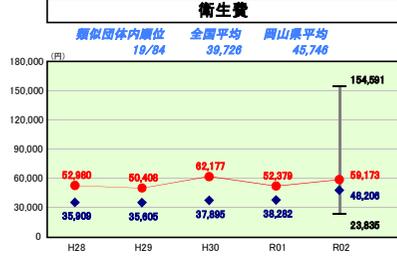
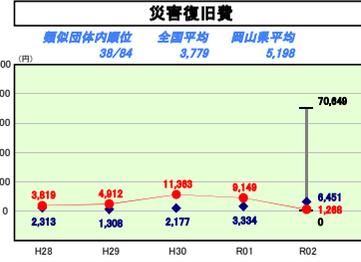
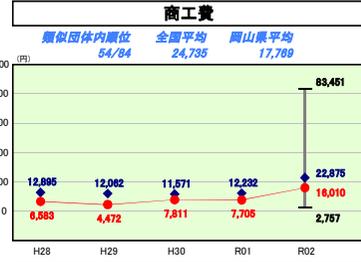
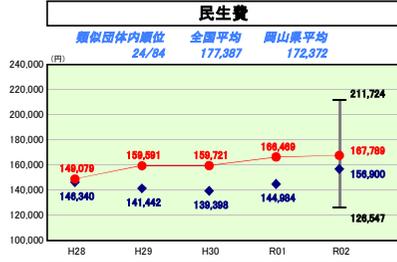
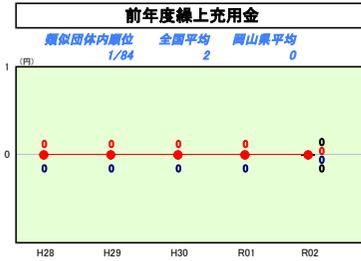
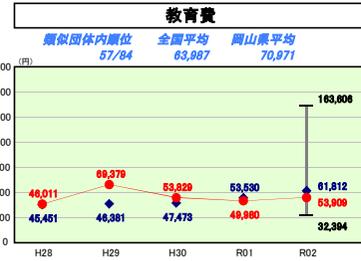
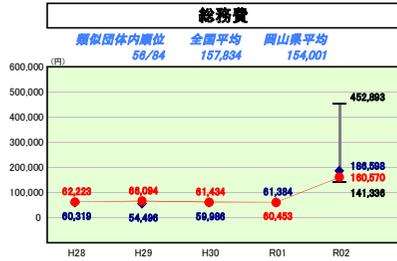
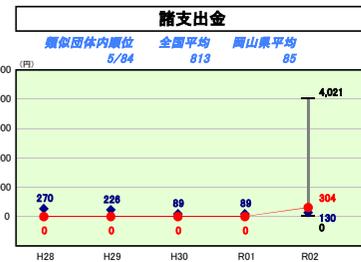
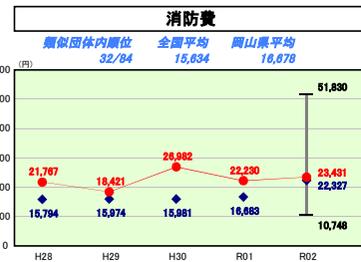
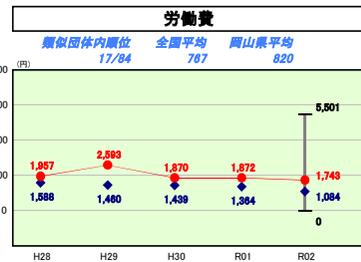
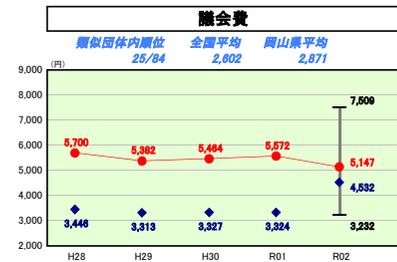
令和2年度

岡山県笠岡市

人口	47,160人(R3.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	46,684人(R3.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	136.24km ²	実質公債費比率	6.4%
歳入総額	29,675,906千円	将来負担比率	59.5%
歳出総額	28,990,090千円	市町村類型	H28 II-2 H29 II-2 H30 II-2 H01 II-2
実収支	459,322千円	(年度毎)	R01 II-2 R02 I-2
標準財政規模	13,273,097千円		
地方債現在高	26,613,353千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と云う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和2年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



目的別歳出の分析概

議会費は新型コロナウイルス感染症蔓延に伴う視察旅費の削減などにより、一人当たり425円の減少となっている。総務費は特別定額給付金給付事業の影響が大きく、全体で161.4%、一人当たり100,117円の大増となっている。民生費は児童福祉施設整備事業等が削減となったものの、新型コロナ関連事業をはじめとした新規事業の影響等もあり、全体ではほぼ横ばいとなっている。衛生費では新型コロナ対策用品の購入に加え、最終処分場の建設費負担金等の増のため、全体で11.2%、一人当たりでは6,794円の増となった。農林水産業費では漁港の改修工事等の増があった一方、畜産・酪農収益力強化設備等特別対策事業の削減等の影響で、全体では6.5%、一人当たりでは977円の減となっている。商工費では企業立地促進奨励金や、新型コロナ対策に係る新規事業の増により、全体で104.5%、一人当たりでは8,305円の大増となっている。土木費では主に自然災害防止事業の増により、全体で1.6%、一人当たりでは1,922円の増となった。消防費は災害応急復旧工事費の増などにより、全体で3.7%、一人当たりでは1,201円の増となった。教育費ではGIGAスクール構想に係る事業の増などにより、全体で6.1%、一人当たりでは3,929円の増となっている。全体に係る事項として、新型コロナウイルス感染症対策事業が大きく増額となったことに加え、人口が前年度比1.6%減となっているため、一人当たりの経費は増加傾向となった。